

2019年12月30日 -平潟「とも丸11号」-

長い冬休み、釣り納めです。今年も平潟の「とも丸」さんで年末年始の食材確保を目論見ました。このところ、タチウオが好調で、今回もメインはタチウオ。しかし、日によってバラツキが出てきた感じで、行ってみないとどうなるかわかりません。

前回、集合時間の5時よりも少し前に到着すると、船の近くに車を停めることが出来なかったため、1時間前に到着、既にお客さんが集まっていたが、今回は船の近くに停めることはできました。

5時過ぎ、若船長が到着し、釣り座のくじ引きが始まる。結果、左舷の真ん中となった。このポジションは初めてである。お客さんは、12名程度ようだ。

ポイントに到着すると、前回の爆釣時と違って、周囲の船も含めて、漁場探索から始まる。前回は、到着と同時に入れ食いとなり、ある意味面くらったが、今回は、冷静なスタートを切れそうだ。しばし、船を旋回させた後、「やって」との指示。タチウオは、毎回、ラインブレイクで出鼻をくじかれるので、今回はリーダーシステムもフロロ22号80cmで武装、一投目も慎重にジグを落としていく。そして、ワンピッチで上げてくるが、前回と違って、船中沈黙・・・あれっ?・・・今回はクーラーボックスも大型を新調し、魚はあそこ、あそこ、・・・に配ってなどと、まさに皮算用だっただけに不安が広がる。

それでも、ほどなくタチウオはポツリポツリ釣れ始める。前回はジグを落とすだけで食ってきたが、今日は、しっかりジャーク&フォールで誘っていかないと食ってくれない。型も今一大型が出ない感じだ。でも、このくらいの方が色々考えるので釣りとしては面白い。色々なパターンで誘いを入れるが、どれが良いという感じでもない。前回は圧倒的にフォールが良かったが（とはいってもテンション掛けないと切られる）、今回は、かなり危険なフォールを入れても食ってくれない。まあ、それでもポツポツは釣れるので、気が付けば十分なお土産は確保できた。こうなると、違う食材も欲しくなるというもの。タチウオの棚よりも上まで誘いを入れて、あわよくばサワラでも、と思っていると、ジグを入れなおした時に、かなり上の層で、ジグが止まり、一気に走りこまれる。緊張が走るが程なくすっぽ抜け。その後もロングジグに換えて、同様に攻めてみるものの、タチウオもこのアクションが好きらしく、タチウオの食いも良くなった感じ。結局30尾ほど十分な食材を確保したところで、今回も早上がりとなりました。

[とも丸さんのサイトへ](#)



今回は、早めの到着。それでも駐車場は釣り人でにぎわっていました。



青物狙いでロングジグを入れるも、タチウオの大好きのような。



タチウオが伸ばした状態で入るように45%の大型クーラーを新調しました。



これだけ入れ食いとなると、どうしてもワイヤーだけでは対処しきれないので、フロロの22号80cmをリーダーに。ラインブレイクは大幅に減りましたが、それでも1、2回はメインラインから切られます。